

事業計画書様式

1 様式1

(施設概要、指定管理者概要)

2 様式2

(公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）、本年度の基本的な管理運営方針（ミッション）、運営業務の実施計画・取組、管理運営体制、人員の配置と研修計画（人員体制表、勤務体制表、人員体制の考え方・職能等、職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について）

3 様式3

(利用者サービスの向上・利用促進策、広報・プロモーションの取組、市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成、地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献、災害時の緊急対応、安全対策・防犯対策、苦情・要望への対応・不法行為対策について、本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮、個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消)

4 様式4

(公園の維持管理の基本方針、公園施設・設備の維持管理、公園施設・設備の修繕計画、樹木・植栽等の管理、巡視・清掃)

5 様式5

(無料事業実施計画一覧（自主事業含む）、有料事業実施計画一覧（自主事業含む）)

6 様式6

(業務の第三者委託一覧)

7 様式7

(収支予算書（指定管理事業のみ）)

8 様式8

(運営目標)

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	富岡総合公園
所在地	横浜市金沢区富岡東二丁目9
公園面積、公園種別	219,208 m ² 、総合公園
主な施設	〈北エリア〉北台展望台、ケヤキ広場、庭球場、多目的広場、アーチェリー場 〈南エリア〉ボタン園、梅林、池、桜並木、駐車場、プラタナス広場、草地広場、並木展望台
特徴	かつて日本海軍の基地「横浜海軍航空隊」があり、戦後は米軍に接收され富岡倉庫地区と呼ばれていました。昭和46年に返還され、昭和50年からその一部が国有地の無償貸与を受けて公園として公開されました。公園内には自然樹林が多く、樹林を進むとアーチェリー場があり、このアーチェリー場は公営施設としてはわが国最初のものであります。公園中央部の道路沿いには、桜並木が見られ、道路の両脇には横浜海軍航空隊当時の石門が残されています。
公園開園日	1975（昭和50）年3月20日

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜市緑の協会・横浜アーチェリーとみどりの会グループ
代表者名	代表団体 公益財団法人横浜市緑の協会 理事長 橋本 健
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通58
指定管理期間	平成6年4月1日から令和11年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成31年4月1日

構成団体A

団体名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 橋本 健
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通58

構成団体B

団体名	一般社団法人 横浜市アーチェリー協会とみどりの会
代表者名	代表理事 大西 敏夫
所在地	横浜市金沢区富岡東2丁目9番2号

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

富岡総合公園の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン「みんなが集まり、活躍できる富岡総合公園を目指して～50th TOMISOU」の達成に向けた着実な管理運営に取り組めます。

当公園の管理運営においては、地域や生き物が交流する結節点（ハブ）としての役割を發揮しながら、「みんな」が生き生きと活躍できる環境づくりや、相互のつながりを生み出すことで、それぞれのウェルビーイング（心身の健康）を実現します。

2 基本的な管理運営方針（ミッション）

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた3つのミッション（果たすべき役割）に取り組めます。

- ・ミッション1 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実
- ・ミッション2 アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現
- ・ミッション3 公園でつながる、ひろがる、地域の輪

3 運営業務の実施計画・取組

今年度の管理運営方針を実施するための取組

(1) ミッション1 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実

園内の様々な植物や生き物に配慮した管理を行い、利用者が心安らげる緑豊かな公園を目指します。また、緑豊かな環境を活かしたイベントやサービスを行う事で、自然とふれあえる機会を提供します。これらの取組により、「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成にもつなげていきます。

(2) ミッション2 アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現

アーチェリー場の安全・安心かつ快適な競技環境の提供と、アーチェリーや健康づくりに関する各種教室の開催など体験機会を創出することで、競技人口の裾野の拡大や公園利用者の皆様の健康増進を図ります。

(3) ミッション3 公園でつながる、ひろがる、地域の輪

市民の皆様や近隣施設などと連携した様々な催しを実施することで、地域交流や魅力向上、結束力強化による防災力の向上に寄与します。本年度は公園感謝 DAY で地域・団体の皆様によるステージイベントや、県立金沢支援学校との連携事業を実施します。

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

職種	人数(名)	役割
施設長（園長）	1	責任者
副施設長（副園長）兼園地リーダー	1	副責任者
運営スタッフ（パート）	1	施設管理、維持管理
園地スタッフ（職員）	1	施設管理、維持管理

園地スタッフ（パート）	4	施設管理、維持管理
アーチェリー場		
管理リーダー（パート）	1	有料施設責任者
管理副リーダー（パート）	1	有料施設副責任者
管理スタッフ①（パート）	1	有料施設管理、維持管理
管理スタッフ②（パート）	3	有料施設管理、維持管理

(2) 勤務体制

職種	主な業務内容	勤務体制 (目安)
施設長（園長）	公園管理統括、事業・予算管理等	週 5
副施設長（副園長）兼 園地リーダー	統括補佐、園地管理統括、運営業務	週 5
運営スタッフ（パート）	広報、企画・実施、各種事務等	週 2～4
園地スタッフ（職員）	施設・園地管理、巡視・点検等	週 5
園地スタッフ（パート）	施設・園地管理、巡視・点検等	週 2～4
アーチェリー場		
管理リーダー（パート）	有料施設管理統括、技術指導	週 2～4
管理副リーダー（パート）	有料施設管理統括補佐、技術指導	週 2～4
管理スタッフ①（パート）	有料施設運営、巡視・点検、事務処理等	週 2～4
管理スタッフ②（パート）	有料施設管理、巡視・点検等	週 2～4

・勤務体制は5～10名を基本とし、繁忙日等は状況に応じ、柔軟に対応します。

(3) 人員体制の考え方・職能等

<ul style="list-style-type: none"> ・公園全体を統括する施設長、統括を補佐する副施設長、アーチェリー場を統括する管理リーダーを配置 ・スタッフは専門性を高めるため、業務別に人員を配置 ・施設長、副施設長は、業務別に分かれたスタッフが一体となって公園管理に取り組めるように、相互の業務協力を促すようマネジメント ・アーチェリーの競技会開催時は、公認1級審判員2名以上、2級審判員2名以上、3級審判員2名以上を配置
--

(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

<p>「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修は、①利用者対応・サービス、②園地管理作業、③マネジメント関係をテーマに実施 ・目標管理制度、職員表彰制度の運用
--

(事業計画書様式3)

1 利用者サービスの向上・利用促進策

- (1) 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実
 - ・豊かな自然環境の保全と花々による魅力向上
 - ・身近な自然から学び、体験する機会の創出
- (2) アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現
 - ・アーチェリー場におけるスポーツ振興
 - ・オープンスペース等を活用した健康づくりの推進
- (3) その他
 - ・マナー向上・啓発、安心して過ごせる環境の提供の取組
 - ・デジタル技術を活用した市民サービスの展開
 - ・管理棟のインフォメーション機能の拡充、有効活用に向けた取組み

2 広報・プロモーションの取組

- ・園内マップなどに二次元バーコードを設置し、ホームページへ誘導
- ・公園ホームページやブログで、イベント情報や花の見頃、野鳥情報などをタイムリーに紹介
- ・アーチェリー場では、競技会の情報や施設の予約状況を発信。
- ・地域コミュニティFM「金沢シーサイドFM」と連携し、イベント情報などを広報
- ・近隣施設と連携し、リーフレットやイベント情報などを相互発信
- ・富総プレスを発行し、イベントや季節の花や生き物についての情報を発信
- ・行政広報を活用し、市民の皆様にイベント情報などを広く周知

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

- (1) 開園 50 周年を契機とした地域連携の強化
 - ・ボランティア、自治会町内会、NPO 法人、近隣施設などと連携した様々な催しを実施することで、地域交流の活性化を目指す。
 - ・地域・団体の皆様の活動発表の場としてステージイベントを開催し、本公園を活用。
 - ・アーチェリー場では、公園感謝 DAY や 50 周年イベントなどでアーチェリー各教室の PR を実施
- (2) 『みんなが主役』の公園づくりの取組
 - ・近隣の教育機関や市民ボランティア等と連携し、花壇づくり、職場体験等を実施
 - ・市民ボランティアと連携し、トンボとり大作戦を実施
- (3) 地域防災力向上のための取組
 - ・金沢消防署と金沢消防団が合同で行う訓練に協力
 - ・周辺地域の自治会・町内会が主催する防災訓練に協力
 - ・保育園や消防署と連携し、津波発生に備え、高台まで避難するルートを実際に歩いて確認
 - ・金沢消防署、金沢消防団と連携し、消火器や AED の扱い方、災害体験などを通じ、日頃からの防災意識を啓発

4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献

- (1) 高齢者のウェルビーイングの推進・交流促進の取組
 - ・心身のリフレッシュや健康増進を図ることを目的に、ヨガ体験を年1回実施
 - ・健康増進を目的に園内の自生植物や山野草を楽しめるオリジナルマップを配布・掲示
 - ・アーチェリー初心者、長期ブランクの経験者、レベルアップ希望者向けの教室を開講
- (2) 地域交流の活性化
 - ・市民ボランティアや自治会町内会、近隣施設などと連携し公園感謝 DAY（年1回）を開催
 - ・50周年記念イベントで、地域の皆様によるステージイベントを開催
 - ・花壇づくりによる美化活動や職場体験などを通じて、社会参加の機会を創出
- (3) 臨海エリアの貴重な緑の保全と地域防災力向上に向けた取組
 - ・公園間で知識・技術・情報を共有し、必要に応じて連携した作業を実施
 - ・効果的・効率的な人材育成のため、樹木・植栽管理など知識・技術向上に向けた研修を年3回実施
 - ・草刈り頻度や刈高の調整（エサを残す）、カントリーヘッジ・バイオネスト設置など、地域の生物多様性保全に貢献する維持管理に取り組む
- (4) 地域経済活性化への取組
 - ・地域人材の活用、横浜市グリーン事業協同組合の活用、市内中小企業への優先的発注

5 災害時の緊急対応

- (1) 災害に備える予防的対策
 - ・災害対応マニュアルの整備・共有、職員用防災備蓄の用意、各種訓練の実施
 - ・地域連携による訓練などの開催
 - ・大雨など警報発表後に特別巡視を実施
 - ・海拔表示の設置、災害対応型自動販売機の設置、災害時優先電話の配備、市防災メールへ登録、緊急地震速報自動放送システムの整備
- (2) 災害発生時の対応
 - ・災害情報を園内放送、園内設備などの開放、地域防災拠点への案内を実施
 - ・職員不在時に発生した場合は災害対応マニュアルに定められた人員が参集
 - ・当団体独自の公園ハザードマップをもとに特別巡視を実施
 - ・宿泊者発生時は駐車場やトイレの開放、体調確認の声かけ、災害情報の提供などを実施

6 安全対策・防犯対策

- (1) 安全対策
 - ・気象注意報（光化学スモッグ注意報・高温注意情報等）発表時の注意喚起
 - ・危険な生物（ハチ、チャドクガなど）の防除
 - ・ハザードマップを巡視・点検時に活用。また、職員全員が普通救命講習を受講
 - ・AEDの設置と設置場所の掲示
 - ・不審物発見時は手を触れずに警察や市所管に連絡。爆破などの犯罪予告時は巡視を実施

- ・アーチェリー場での危険な行射またはその恐れのある利用者には、スタッフが注意、指導。万が一に備え、各種保険に加入
 - ・アーチェリー射手を同一行射線から利用できるよう、移動的(マト)の製作・設置
- (2) 防犯対策
- ・園内の死角を日常巡視で重点的に確認するとともに不審者などに留意した巡視を実施
 - ・年中無休のコールセンター、緊急連絡先などを記載したセキュリティボード、「子ども110番の家」看板の設置。
 - ・アーチェリー場はセコムの防犯システムによる夜間警備の実施
- (3) 維持管理作業での対応
- ・複数名による作業の実施
 - ・草刈作業は小石の飛散防止シートなどで養生。作業範囲の立入禁止措置の実施
 - ・車両での園内走行時は、ハザードランプ点灯と徐行
 - ・墜落制止器具、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備着用の徹底
 - ・作業機器取扱者は安全衛生教育を受講
 - ・燃料類、刃物類は保管庫で施錠管理
- (4) 熱中症対策
- ・利用者への取組として、熱中症予防行動の周知、脱水症状チェック表の貼り出し、セキュリティポスの設置、木陰の創出を実施
 - ・スタッフへの取組として、健康状態の確認や作業工程の工夫などを実施
 - ・設備への対策として、熱交換塗料の塗布、クールスポットの創出、屋外テーブルベンチの設置、自動販売機の設置などを実施

7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

- ・盗難・器物破損などの発生時は警察及び市所管に連絡・報告
- ・不法投棄は発生場所を中心に、重点的な巡視や樹木剪定による見通し改善など犯罪を誘発しない環境づくりに努める
- ・火気使用発見時は、中止するよう指導
- ・落書きは、差別に当たるものは利用者の目に触れないよう覆った後、市に報告し対応を協議。その他は発見次第速やかに原状回復
- ・ノーリードでの犬の散歩やドローンの飛行、ゴルフの素振りなどの公園の利用および管理に支障のある行為を防止するため、看板設置、園内放送などで注意喚起を実施
- ・花見期間の無許可露店、路上駐車、ごみ対策の実施

8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

- ・歴史ある桜並木の保全と再生、ボタン園の適切な維持管理、「GREEN×EXPO2027」応援花壇の設置、「緑の街づくり基金」への協力
- ・浚渫など池の環境改善、条件付特定外来生物の防除、鳥獣保護区内の立入制限
- ・再エネ100%電力の導入

- ・落ち葉を腐葉土化し園内で利用、園内発生材による樹名板、樹木マップ等の作成
- ・自然環境や歴史を題材にしたイベントの開催、アーチェリー体験教室によるスポーツ振興
- ・市民協働による賑わいイベントや花壇作り、ボランティアの活躍する場の提供
- ・ウェブアクセシビリティ対応、筆談ボード設置、スロープ設置などバリアフリー化の推進
- ・市内産の花苗などの植栽を通じた地産地消の推進、市内中小企業へ優先発注
- ・健康経営の推進、女性活躍の推進、ワークライフバランスの推進、イベントなどでの地域作業所の出店
- ・上記取組について、自治会町内会、教育機関、保育園、市関係機関、子育て支援拠点、地域作業所、ボランティアなど、多様な主体とともに推進

9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

(1) 個人情報保護・情報公開

- ・個人情報保護は、当団体の個人情報保護方針、個人情報保護規程に基づき管理
- ・情報公開は、情報の公開に関する規程に基づき対応
- ・個人情報保護研修を実施

(2) 人権尊重・障害者差別解消

- ・人権啓発研修（障害者差別解消も取り扱う）を実施
- ・アーチェリー場中央に車いす利用者などが容易に競技・利用しやすい舗装通路を設置・活用

（事業計画書様式4）

1 公園の維持管理の基本方針

生物多様性に配慮した管理を行うとともに、身近な自然とふれあえる機会を提供します。また、歴史ある桜並木、区の花ボタンをはじめ、地域の草花を適切に保全します。

アーチェリー場においては、安全・安心かつ快適な競技環境を提供することで、施設の利用促進とスポーツ振興に貢献します。

2 公園施設・設備の維持管理

(1) 樹林地

- ・保護樹林区は、立ち入りや人為的な影響を必要最小限にとどめた管理を実施
- ・特に珍しい鳥が訪れる管理棟周辺は、鳥と利用者両方に配慮した管理を実施
- ・自生植物の開花時期に草刈りを制限することで、地域の植物を適切に保全
- ・あじさい坂のアジサイは、花つきを良くするための剪定手法を手作業で実施

(2) 草地広場

- ・草刈りは利用に快適な草丈3～5センチを基準に実施。
- ・傾斜部分は土砂流出防止のため10センチ程度に維持。

(3) 池・流れ

- ・池内は在来種保護のため、外来種と在来種の生息区域を分けて管理
- ・ゲンジボタルの成虫が見られる時期には、生育を阻害しないよう遮光ネットなどを設置

- ・トンボやゲンジボタルの生息状況を調査し、その結果を維持管理に反映
- ・生き物が生息しやすい水辺環境を保全するため、池の流量の確保と泥上げ作業を実施
- ・庭園区では山野草を充実させるなど美観に特に配慮した管理を実施

(4) アーチェリー場

ア 日常整備

- ・常に利用者目線での管理運営を実施し、チェック項目や作業手順を具体化した管理マニュアルに基づき管理を実施
- ・的紙や的用畳等の状態が悪いものについては、速やかに交換
- ・修繕記録、事故発生記録等を整備・活用

イ 定期整備

- ・月1日を定休メンテナンス日とし、グリーンの整備（芝刈り）、常設備品のメンテナンス（的用畳・的紙交換）、周辺の除草、射線の整備等を実施し、行射品質を維持

ウ 美観の向上

- ・エントランスやシェルターに花壇やプランターを設置

エ 競技団体との連携

- ・全日本アーチェリー連盟の規定に基づいた行射通路などの整備

(5) 点検

- ・市公園施設点検マニュアルに基づく施設点検（年4回）、施設管理者点検（年1回）、対象遊具の精密点検（年1回）、当団体独自の月例点検（月1回）を実施
- ・梅雨、台風、落葉時期の排水機能の確認、台風、降雪時期の枯枝・枯損木の確認など特に留意して実施
- ・老木や高木は、危険木点検（年1回）、倒木防止のためのケーブリングや伐採等を実施

3 公園施設・設備の修繕計画

- ・建築物や遊具などは、定期点検や精密点検を活用し、施設の健全度、劣化状況を把握。把握した内容に基づいて優先度を評価し、予防的修繕など適切な措置を実施することで事故防止や長寿命化に貢献。
- ・ベンチや園路などは、日常巡視・点検や定期点検により異常の有無を把握し、利用者の安全確保を最優先に、異常箇所の修繕を随時実施。老朽化したものは更新し、指定管理者の負担区分を超えるものは市と協議

4 樹木・植栽等の管理

(1) サクラ再生プロジェクトの取組

- ・桜並木を中心に、樹木医診断などによる樹勢の経年調査と樹勢回復作業を実施
- ・園内のサクラは樹木No.テープで一括管理し、樹種の把握や健康状態などの経過を観察
- ・踏圧防止や細根を育てるため、根株周辺に落葉のマルチングやバイオネストを施す
- ・若い枝を育て、樹勢を回復させるため、軽減剪定などを実施
- ・枯れ枝や越境枝などは適宜撤去し、利用者の安全管理に努める

(2) ボタン園

- ・ボタンの維持管理（剪定や芽かき、花がら摘み、有機質肥料の施肥、根元の藁による保護など）を適宜適切に実施。日照障害を防ぐため、夏場は日除けを設置
- ・マツは、みどり摘みやもみあげ、こも巻きなどを適宜実施し、美観を維持
- ・後継者育成のための研修を実施

(3) 梅林

- ・ウメ輪紋ウイルスの対策として、ウメ、アンズ、スモモに疑わしい症状が出た場合は、直ちに市に報告・協議のうえ、必要な対策を実施
- ・実ウメ、花ウメなどウメの種類と樹勢に応じた剪定を実施

(4) 「GREEN×EXPO 2027」応援花壇

- ・宿根草と一年草を組み合わせた自然風の花壇を作成

(5) 病害虫の防除

- ・予防的防除を前提とし、やむをえず薬剤散布を行う場合は、市の指針や関連法規に従って利用者の少ない時間帯に作業エリアを封鎖し実施
- ・コナラなどの根元を中心にフラスがないかを巡視時に注視し、ナラ枯れが見られた場合は必要に応じて予防対策として樹幹注入や拡散を防ぐための伐採を利用者へ告知し実施

(6) SDGs 達成に向けた持続可能な公園管理の取組

- ・園内発生材をカントリーヘッジや支柱などに活用し園内の資源循環を推進
- ・地域協働でアメリカザリガニ捕獲活動を実施。捕獲したザリガニは肥料の材料として利用
- ・近隣学校施設と花壇づくりを実施
- ・サクラの一部に剪定枝を再利用したバイオネストを設置し、根本を踏圧から保護
- ・落ち葉を堆肥化し、花壇や樹林の林床、植栽地に還元

(7) 日本庭園を意識した梅林・庭園区の維持管理

- ・季節ごとのパーゴラ装飾（植物素材）を実施

(8) 園内を彩る植栽の適切な維持管理

- ・四季を彩る植物に合わせた剪定や土壌改良等、植物の魅力を高める植栽管理を実施

(9) 近隣地域の安全に配慮した樹木の維持管理

- ・住宅地境界における越境枝、枯れ枝の巡視・点検及び発見時の剪定・清掃等の実施

5 巡視・清掃

(1) 巡視

- ・日常巡視は1日2回実施。斜面地など危険箇所は特に注意を払い巡視し、異常発生時は速やかに市へ報告し、速やかに安全対策を実施
- ・花見時期はトイレや桜並木沿いを重点的に行き、違法駐車等には声掛けや警察との連携に努める
- ・特別巡視を気象警報解除後、震度5弱以上の地震発生時、他園での重大事故発生時に実施

(2) 清掃

- ・テーブル・ベンチの清掃や園路のごみ拾い、掃き掃除などを実施。降雨後や落葉時期は滑

りやすいため重点的に実施。

- ・梅雨前や落葉時期の降雨後を中心に、側溝の泥上げ清掃を実施。
- ・トイレは毎日1回を基本とし、利用状況に応じて随時実施。チェックシートを掲示し、利用者に清掃状況を周知。必要に応じて排水管清掃や高圧洗浄などの特別清掃を実施

(事業計画書様式5)

無料事業実施計画一覧 (自主事業含む)

事業名	内容 (募集人数等)	新規	実施時期	回数
(1) 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実				
「GREEN×EXPO 2027」 応援花壇の設置	近隣の保育園やボランティアと協働で花壇を設置。花苗は市内の生産農家から調達。植え方をレクチャーするなど、作り手との交流も図る	○	春・秋	2
市民協働花壇の設置	近隣の保育園や地域の支援学校と連携		春・秋	2
樹名板の設置	樹名板の製作や交換の実施。作業の一部を地域の支援学校とともに実施		通年	通年
おもてなし花壇の設置	管理棟の入口に花壇を設置し、季節の花を植栽		通年	通年
樹木マップ、ボタン園 マップの設置	園内の発生材を活用し、樹木やボタンの種類を案内するマップを作成、設置		通年	通年
季節の装飾	季節に合わせた装飾の実施		随時	随時
ネイチャーゲーム	園内の自然を活用し、子どもも大人も楽しめる自然遊びのプログラムを開催	○	3月	1
野鳥の動画公開	公園に訪れる珍しい冬鳥の動画を配信	○	随時	随時
カブトムシの観察コーナー	園内で採集したカブトムシを管理棟入口に展示		夏期	随時
落ち葉プール	園内の落ち葉を集め、子ども達が五感を使って自由に遊ぶイベントを開催		11～12月	2
トンボとり大作戦	トンボの生態調査を目的に、園内にいるトンボの種類や移動距離を調べる		6～10月	5
生き物ハンドブックの 配布	昆虫や野鳥など、園内で観察できる生き物を紹介する冊子を作成し、配布		通年	通年
生き物さがしワーク シートの配布	園内に生息する生き物についてのワークシートをホームページで配布		通年	通年
ゲンジボタルの生態調 査	ゲンジボタルの生態について調査を実施		5～7月	1
(2) アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現				
貸切利用の推進	競技会での広報や、ホームページ、SNS 等で施設情報を発信	○	随時	随時

年間行事予定表の配布	年間の競技会や施設の貸切状況を、場内掲示およびホームページ、SNS で発信		通年	通年
簡易テントの設置	競技会や講座開講時の雨天の退避場所や、炎天下における安全確保のため、簡易テントを設置		随時	随時
自生植物めぐり、山野草めぐりの配布・掲示	園内に自生する植物や山野草のオリジナルマップを配布・掲示		通年	通年
■マナー向上・啓発、その他サービス向上の取組				
遊具の使い方教室	子どもたちに遊具の正しい使い方をレクチャー		11月	1
海拔表示の設置と活用	津波発生時の指標となる海拔表示を園内に設置		通年	通年
セキュリティポスト	園内の名称、連絡先等を記した案内サインを設置		通年	通年
■市民協働の取組				
50周年記念イベント「とみそうステージ」	地域の皆様によるダンスパフォーマンスや演奏などのステージイベントを公園感謝 DAY で実施	○	11月	1
合同防災訓練への協力	金沢消防署と金沢消防団の合同訓練に協力		随時	随時
自治会の防災訓練への協力	周辺地域の自治会・町内会が主催する防災訓練に協力		随時	随時
津波避難訓練	津波発生に備え、高台まで避難するルートを実際に歩いて確認		11月	1
災害体験	消火器や AED の扱い方、煙ハウス体験などを通じ、日頃からの防災意識を啓発		11月	1
■地域交流の活性化				
県立金沢支援学校等近隣教育機関やボランティアとの連携	花壇づくりや職場体験などを実施。	○	6、11月	2
■管理棟の有効活用に向けた取組				
コンポストの設置	園内作業で発生した落葉や剪定枝を堆肥化	○	随時	随時

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施月	回数	自主事業予算額（円）	
					自主事業費	自主事業収入
(1) 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実						
夏休み昆虫観察会	子どもを対象に昆虫についての解説を行う観察会を開催	○	7月	1	0	3,000
ワークショップ	園内の植物や発生材を活用したワークショップを開催	○	12月	1	10,000	6,000
収穫物や間伐材の販売	園内の収穫物や間伐材を販売	○	随時	随時	3,000	30,000

公園ウォーキングツアー	園内の見ごろの植物や生物、歴史遺構などをガイド		4、5、2月	3	10,000	12,000
星空観察と秋の生き物さがし	中秋の名月や星空、秋の虫を観察するツアーを実施		9月	1	15,000	3,000
(2) アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現						
アーチェリーステップアップスクール	初心者、長期ブランクの経験者、レベルアップ希望者が対象の教室を専門のコーチを配属し開講	○	通年	通年	45,000	100,000
アーチェリー体験教室	アーチェリー初心者向けの体験教室を開講		通年	30	20,000	210,000
市民スポーツ教室	体験教室受講者を対象とした、短期間で基礎を学ぶ教室		夏期	2	10,000	180,000
ジュニア強化事業	市内・県内の高校生を対象に、選手育成を実施		夏期	2	200,000	200,000
横浜市民体育大会	シニア、成人、学生、障がい者などが参加する大会を実施。(横浜市後援、横浜市スポーツ協会協賛)		4、8、10、12月	4	488,000	525,000
弓具・競技機材の貸出しサービス	弓具やアーチェリータイマーなどの競技機材を貸出し		通年	通年	90,000	165,000
ロッカーの貸出し	ロッカーを設置し、利用者の弓具等を預かるサービスを実施。		通年	通年	0	120,000
パークヨガ	プラタナス広場や草地広場などでヨガ体験を実施	○	5、10月	2	20,000	10,000
■マナー向上・啓発、その他サービス向上の取組						
愛犬マナー教室	しつけや悩み相談等を実施		2月	1	3,000	6,000
■市民協働の取組・市民主体の活動の支援、地域人材育成						
富岡総合公園感謝DAY	地域団体と連携しスポーツや防災などに関する様々な催しを実施。		11月	1	247,000	20,000
合計					1,161,000	1,590,000

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務名	内容	再委託会社	年回数	実施月	備考
便所清掃	便所清掃	(特非)横浜市精連	362	通年	-
園地等維持管理	高所作業等園地管理	横浜市グリーン事業協同組合	随時	通年	-

ボタン園維持管理	ボタン園の維持管理	横浜市グリーン事業 協同組合	随時	通年	-
樹木診断・技術指導・樹勢回復治療	樹木医による樹木診断等	(特非)自然への奉仕者・樹木医協力会	随時	通年	-
遊具精密点検	遊具の精密点検	R5 年度中に見積合せ	1	1 月	-
夜間緊急対応	夜間緊急対応	R5 年度中に見積合せ	随時	通年	-
水生生物調査	池周辺の環境改善調査	(特非)よこはま里山研究所	随時	通年	-
消防設備点検	法令に基づく定期点検 ①機器点検②総合点検	R5 年度中に見積合せ	①2 ②1	①9、3 月 ②3 月	-
園内灯設備保守点検	園内灯設備保守点検 ①巡視点検②部品交換	R5 年度中に見積合せ	①1 ②随時	①4～6 月 ②通年	-
放送設備保守点検	放送設備保守点検	R5 年度中に見積合せ	1	未定	-
スズメバチ防除	スズメバチの巣除去	R6 年度中に見積合せ	随時	通年	-
一般廃棄物収集・運搬・処分	一般廃棄物収集・運搬・処分	R5 年度中に見積合せ	随時	通年	-
産業廃棄物収集・運搬・処分	産業廃棄物収集・運搬・処分	R5 年度中に見積合せ	随時	通年	-
路上駐車対策警備	花見特別警備	R6 年度中に見積合せ	1	3 月	-
イベント会場設営・運営	富岡総合公園感謝 DAY の会場設営・運営	R6 年度中に見積合せ	1	11 月	-
夜間機械警備	アーチェリー場詰所の 夜間機械警備	(株)セコム	通年	通年	-

富岡総合公園 令和6年度 事業計画書

(事業計画書様式7)

収支予算書(指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明 ※()は提案時からの変更点
収入の部						
指定管理料	54,733,370	0	54,733,370	0	54,733,370	
利用料金収入	4,492,000	0	4,492,000	0	4,492,000	
自主事業収入	1,590,000	0	1,590,000	0	1,590,000	
横浜市による運営支援	1,619,351	0	1,619,351	0	1,619,351	横浜市による物備高騰に伴う指定管理施設運営支援
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計 (a)	62,434,721	0	62,434,721	0	62,434,721	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	29,144,000	0	29,144,000	0	29,144,000	
給与・賃金	23,966,000	0	23,966,000	0	23,966,000	
社会保険料	2,548,000	0	2,548,000	0	2,548,000	
通勤手当	2,562,000	0	2,562,000	0	2,562,000	
福利厚生費	68,000	0	68,000	0	68,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	3,269,351	0	3,269,351	0	3,269,351	
旅費	48,000	0	48,000	0	48,000	
消耗品費	1,302,351	0	1,302,351	0	1,302,351	
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	30,000	0	30,000	0	30,000	
通信運搬費	188,000	0	188,000	0	188,000	
使用料及び賃借料	52,000	0	52,000	0	52,000	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	52,000	0	52,000	0	52,000	
備品購入費	30,000	0	30,000	0	30,000	
保険料	386,000	0	386,000	0	386,000	
振込手数料	48,000	0	48,000	0	48,000	
リース料	724,000	0	724,000	0	724,000	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	461,000	0	461,000	0	461,000	
自主事業費	938,000	0	938,000	0	938,000	
管理費	23,799,335	0	23,799,335	0	23,799,335	
光熱水費合計	2,027,000	0	2,027,000	0	2,027,000	
光熱水費(電気)	1,120,000	0	1,120,000	0	1,120,000	
光熱水費(ガス)	55,000	0	55,000	0	55,000	
光熱水費(水道)	625,000	0	625,000	0	625,000	
光熱水費(下水道)	227,000	0	227,000	0	227,000	
清掃費	5,221,000	0	5,221,000	0	5,221,000	
修繕費	1,700,000	0	1,700,000	0	1,700,000	
機械警備費	264,000	0	264,000	0	264,000	
公園及び公園施設設備保全費	14,587,335	0	14,587,335	0	14,587,335	
施設(建物)・設備保守	329,000	0	329,000	0	329,000	
園地管理費	13,164,335	0	13,164,335	0	13,164,335	
その他保全費	1,094,000	0	1,094,000	0	1,094,000	
公租公課	2,215,000	0	2,215,000	0	2,215,000	
公租公課(事業所税)	250,000	0	250,000	0	250,000	
公租公課(消費税)	1,711,000	0	1,711,000	0	1,711,000	
その他公租公課	254,000	0	254,000	0	254,000	
事務経費(本部分)	2,316,000	0	2,316,000	0	2,316,000	
雑費	753,035	0	753,035	0	753,035	
支出合計 (b)	62,434,721	0	62,434,721	0	62,434,721	
差引 (a-b)	0	0	0	0	0	

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	6,384,300	0	6,384,300	0	6,384,300
設置管理許可支出合計 (d)	9,265,000	0	9,265,000	0	9,265,000
差引 (c-d)	-2,880,700	0	-2,880,700	0	-2,880,700

今年度の収支計画

- ・自主事業収入の確保 1,590千円
- ・その他事務費の縮減 前年度予算から100千円減(1,719千円以下)
- ・その他保全費の縮減 前年度予算から100千円減(553千円以下)

(事業計画書様式8)

運営目標

項目	取組内容及び具体的な数値目標
業務運営1 (様式2: 運営業務の実施計画・取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施1回 ・満足度結果80%に上昇
業務運営2 (様式2: 管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した人員の配置 ・研修・講習の実施 利用者対応・サービスに関する研修4件以上 園地管理作業に関する研修4件以上 マネジメントに関する研修6件以上
業務運営3 (様式3: 利用者サービスの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> ・年12回定例会の実施 ・季節装飾3回 ・自主事業提案43件 ・新規事業12件
業務運営4 (様式3: 広報・プロモーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの更新48回 ・富総PRESSの発行4回
業務運営5 (様式3: 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣教育機関や町内会、ボランティアとの花壇花植え、防災訓練、災害体験の実施
業務運営6 (様式3: 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康増進等の取組6件
業務運営7 (様式3: 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性関連イベント9件実施
業務運営8 (様式4: 公園の魅力を高める施設保全・管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の歴史的背景を伝える歴史の紹介ページをHPに掲載 ・バリアフリーの配慮 ・セキュリティポスの設置 ・海拔表示設置
業務運営9 (様式4: 施設(建物等)、設備の維持管理、修繕計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・当団体独自のチェックシートに基づく公園点検の実施12回 ・市公園点検マニュアルに基づく施設点検4回(通常3回、詳細1回) ・園内灯設備保守点検1回

	<ul style="list-style-type: none"> ・放送設備点検 1 回 ・消防設備点検 2 回 ・分電盤・トイレ・時計点検 1 回 ・施設管理者点検マニュアルに基づく建物点検 1 回 ・空調簡易点検 4 回
業務運営 10 (様式 4 : 樹木、植栽等の管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・竹林の間伐 1 回 ・サクラの樹木医診断 1 回 ・危険木調査 1 回
業務運営 11 (様式 4 : 巡視・清掃)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視・清掃 毎日 (年末年始を除く) ・警報等発表後の特別巡視
収支 (様式 7 : 収入確保、経費節減策)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業収入の確保 1,590 千円 ・その他事務費の縮減 前年度予算から 100 千円減 (1,719 千円以下) ・その他保全費の縮減 前年度予算から 100 千円減 (553 千円以下)